

『新しい生活様式』定着が前提!!

緊急事態宣言が解除されたとは言え、第2波・第3波の到来に備えつつ、With コロナ(コロナとの共生)の状態生きていかなければなりません。言い換えれば、予防接種やワクチンが開発され、新型コロナウイルス感染症が【終息】するまでは、私たち一人ひとりが「新しい生活様式」の定着に向けた努力を積み重ねることにより、感染リスクを回避することが求められているわけです。

老大での講義が始まるのが、そのまま、「コロナの恐怖が消えて安心・安全」と言うわけではなく、老大学生一人ひとり(職員も)が施設の利用者として、移さない・移されないように責任ある行動を確実に実践することが大切ということです。

「健康と安全が1番」をめざし、「老大から、一人のコロナウイルス感染者も出さない」を合い言葉にする以上、次に示す事柄ができる・守れる・努力することが受講の最大条件と言えます。

これから、暑い夏を迎え、マスク着用一つもなかなか実践しにくくなりますが、老大での楽しい学びを思い浮かべながら、意識できているか・きちんとできているかを自己点検してみてください。健康チェックシートを同封しますので取り組んでみましょう。

- 1 毎朝、必ず体温を計測して記録する
 - 2 不要不急の外出は控えるとともに、人混みを避ける
(外出した際は、場所と接触者などを記録する)
 - 3 外出する時は、必ずマスクを着用する
(無意識にマスクに触れない 予備のマスクを準備する)
 - 4 咳エチケットを守る
 - 5 石鹸で、こまめに手を洗う
 - 6 人との距離(ソーシャルディスタンス)をできるだけ2m 確保する
 - 7 会話をする時は真正面を避け、不必要な会話はしない
- ※ 洋式トイレのふたを閉めてから水を流す